

絵本の楽しさを伝えたい

名和中学生が保育所で初めてのお話し会



エプロンのポケットから大きなカブが飛び出しました

保育所でお話し会をして園児に喜んでもらおうと、12月18日、名和中学校1年生（45人）が、名和地区すべての保育所で絵本の読み聞かせをしました。

御来屋保育所では、11人の生徒が3人1組になり、園児のために選んだ絵本を、緊張しながらも、丁寧に読み聞かせました。「おおきなカブ」のエプロンシアター（エプロンを使った人形劇）では、ポケットから飛び出した大きなカブに歓声を上げる園児も。楽しい雰囲気のお話し会になりました。

名和中学校では総合学習の時間を使った初めての取り組みで、生徒たちは町の読み聞かせボランティア「とつげきお話し隊」のお話し会を経験し、1学期から練習を重ねてきました。

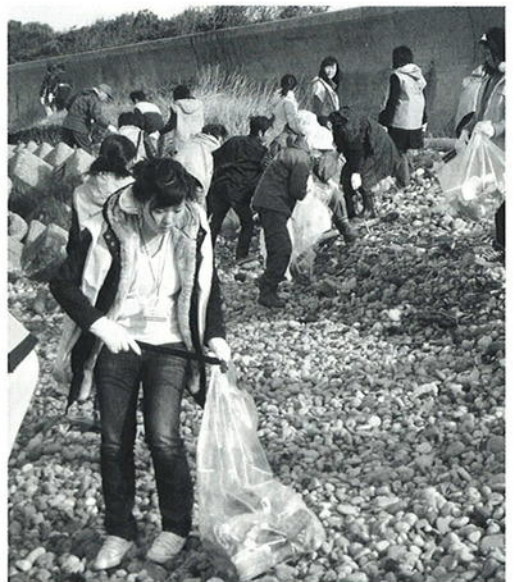
お話し会を終えた生徒は「楽しかった。保育園のみんなの反応が良くて練習したかいがあった」「緊張して練習どおりお話しできなかった」と、それぞれ初めて小さい子どもに本を読んだ感想を話しました。

今後も定期的に続けていく予定です。

韓国学生が 海岸清掃

韓国の学生たち40人が、12月19日（火）保田海岸の清掃を行いました。これは、韓国の全州紀全大学生が、日本海を漂うゴミの実態を知り、環境問題を考える機会にしようと、鳥取大学の協力を得て行われました。好天に恵まれたこの日、保田部落の皆さんも駆けつけ、一緒に海岸に打ち上げられたゴミを拾いました。

学生たちは、片言の日本語や身振り手振りで地元の皆さんに話しかけ、言葉が通じないながらも、あたたかな国際交流ができていました。



海岸沿いに打ち上げられたゴミなどを丁寧に拾いました

夜の図書館がコンサート会場に



清らかな音色が響きました

図書館でクリスマスコンサート

12月15日（金）、19時30分から『クリスマスコンサート』が町立図書館で行われました。演奏は、地元出身でクラリネット奏者として活躍中の松本幸恵さん（石井垣）とシンセサイザーの細木千鶴さん。

「ホワイトクリスマス」「赤鼻のトナカイ」などクリスマスにちなんだ楽曲や、「琵琶湖周航の歌」「青い山脈」などおなじみの曲が流れると、会場から拍手が。冬の夜にふさわしい、あたたかいコンサートとなりました。